

製品安全データシート (MSDS)

製品名	SHQ-1
物質の特定	<p>単一製品・混合物の区別 混合物（非晶体マイクロカプセル）</p> <p>成分及び含有量</p> <p>誘導体成分（CKC） 56%</p> <p>ハイドロキノン（HQ） 30%</p> <p>天然植物成分（EC） 14%</p> <p>官報公示整理番号 なし</p> <p>CAS No.</p> <p>CKC 122-18-9</p> <p>HQ 123-31-9</p> <p>EC 9004-57-3</p> <p>国連分類 なし 国連番号 なし</p>
危険有害性の分類	<p>分類の名称：分類の基準に該当しない。</p> <p>危険性：可燃性。</p> <p>有害性：眼、粘膜を刺激する。</p> <p>環境影響：生分解性のため良好。</p>
応急措置	<p>目に入った場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直ちに清浄な流水で 15 分以上洗浄した後、医師の診察を受ける。洗浄の際、まぶたを開いて眼球のすみずみまで水が行き渡るようにする。 <p>皮膚に付着した場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大量の水または温水を流しながら洗浄する。必要に応じて石鹼などを用いて十分に洗い流す。 ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。 <p>吸入した場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静にする。直ちに医師の診察を受ける。状況に応じて人工呼吸を施す。 <p>飲み込んだ場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水でよく口の中を洗浄し、直ちに医師の診察を受ける。
火災時の措置	<p>消火方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火活動は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。 ・燃焼や高温により分解し、有毒な塩素ガスを発生する恐れがあるので注意する。 <p>消火剤：水噴霧、泡、粉末、二酸化炭素</p>

漏出時の措置	飛散しやすいため必ず防護具を使用し、換気をよくしてから回収し、水で洗浄する。
取扱及び保管上の注意	取扱：吸引を避け、眼や粘膜への接触を避けること 保管：密閉し、湿気、直射日光を避け、冷暗所に保管
暴露防止措置	管理濃度：未設定 許容濃度：日本産業衛生学会 未設定 ACGIH 未設定 設備対策：局所排気設備 保護具：呼吸用保護具：防塵マスクを用いる 保護眼鏡：保護眼鏡を用いる 保護手袋：ゴム手袋を用いる 保護衣：保護衣を用いる
物理化学的性質	外観等：白色粉末 融点： 情報なし 比重：情報なし 溶解度：メタノール - 可溶 揮発性：なし その他：強塩基、酸化剤と反応する。
危険情報（安定性・反応性）	引火点：情報なし 発火点：情報なし 爆発範囲：情報なし 可燃性：可燃性粉体 発火性：（自然発火性、水との反応性）なし 安定性・反応性：通常取扱条件（屋内、常温）において安定
有害性情報 （人についての症例、 疫学的情報を含む）	皮膚腐食性：現在のところ報告されていない 刺激性 皮膚：現在のところ報告されていない 眼：刺激する 感作性：現在のところ報告されていない 急性毒性：LD50=>500mg/kg (ori-rat) その他毒性：現在のところ報告されていない ガン原生：データなし 変異原生（微生物、染色体異常）：データなし その他（水と反応して有害なガスを発生する等を含む）：なし
環境影響情報	分解性：容易に微生物に分解される。 蓄積性：データなし 魚毒性：データなし その他：データなし

<p>廃棄上の注意</p>	<p>焼却炉にて、少量ずつ焼却処理する。自家処理施設が無い場合は許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転落、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。</p>
<p>適用法令</p>	<p>PRTR 法第一種 254 (ハイドロキノンとして)</p>
<p>その他</p>	<p>この MSDS は、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。御使用に先立って、危険、有害情報のみならず、御使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。</p> <p>御購入を頂いた商品は、安全性の点からも速やかに消費されることを大前提としております。その後新たな情報や修正が加えられる場合もありますので、万一御使用時期が大幅にずれこんだり、ご懸念を抱かれた場合には、改めて弊社にご相談下さい。</p> <p>また記載の注意事項は通常の実用を前提としたものであって、特別な取扱いをする場合には状況に適した安全対策を実施の上、十分な注意を払う必要があります。</p> <p>すべての化学製品は「未知の危険性、有毒性がある」という認識で扱うべきであり、その危険性、有害性も使用時の環境、扱い方、あるいは保管の状態、期間によって大きく異なります。御使用時はもちろんのこと、開封から保管、廃棄に至るまで、専門的知識、経験のある方のみ、あるいはそれらの方々の指導のもとで取り扱うことを警告します。</p> <p>御使用各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるよう、御願い申し上げます。</p>
<p>引用文献</p>	<p>(1)「化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質データ」、化学工業日報社、2000.</p>